

る点は否めない。一方で、ふるさと納税が多い自治体の傾向としては、華やかな豪華な返礼品を準備しているところが多く問題になっている。総務大臣通知では、ふるさと納税の趣旨に反するような返礼品を送付する行為は行わない。また、寄附金控除の趣旨を踏まえた良識ある対応を願うとのことであり、ふるさと納税の創設の趣旨に沿って対応したい。

## 公費ホテル

**問** 観光消費額の説明が市民向けと議員向けで異なっている。平成27年3月9日付、檀原市民団体連絡会会長宛ての檀原市長からの「緊急の要求書及び公開質問状に対する回答」では観光消費額は、11億円〜13億円だが、当該宿泊施設は観光客及びビジネス客双方を誘客対象とし、観光消費額を半分程度と仮定しても年間5億〜6億円程度の経済効果と述べている。一方、3月26日の議決日の議員の質問に対する答弁では、13億円と言っている。市民向けには5〜

6億円と回答をしておきながら、議会には13億円というのは、議決を得るためか。不誠実では。

**答** 県の統計による観光消費額単価26、577円掛ける140室のホテルが年間、最低70%稼働すると見積もっているが、このホテルは、観光客及びビジネス客双方を誘客対象としているため、観光消費額等を半分程度と仮定して年5〜6億になると文書で回答した。ただ、業者からの提案では、観光客が14万人から18万人の4万人増となっており、ビジネス客から観光客へ見込みがスライドしているの

で議会に対しては大きい方の数字を言った。  
**問** 年間の見込みが6億円でも13億円でもどっちでもよいのか。その観光消費額が、市民税の法人所得割の金額としてどの程度市に入ってくるかの試算はあるのか。ゼロに近いのではないか。一方、ふるさと納税を宇陀市のようにインターネット通販形式で頑張れば、市の収入も増えるし、物品販売により市民の売上げにもなる。力の入れどころが違うのでは。

**答** インターネット販売は行っていないが、商品の紹介はしている。不十分ではあるが、物販の促進に努めたい。

**問** 議会だけでなく、有識者による市有地活用検討委員会においても八木駅前の渋滞を何とかしなくてはという話があったはずだが、解決策は。

**答** 渋滞対策プランを考えるよう指示があった。国道24号の混雑解消のため京奈和自動車道の事業進捗を早めるようお願いしており、信号については県警と協議している。今後は、5差路となっている八木駅前北広場の交差点の改良を検討し24号線の渋滞緩和を図りたい。

**問** 八木北の事業はホテルの後の予定だが、ホテルによる渋滞が懸念されており、順番が逆では。その基本構想は、いつ議会に提示できるのか。

**答** 本庁舎の建替え、リファインング（再生）、北側を同時進行でしたい。渋滞は目に見えており、警察とも協議を進めていく。八木駅北側は、基本構想作成中で、駐車場や道の案が出ている。市有地活用検討委員会を改め、八木駅周辺整備に関する全てのこと

をしていただこうと考えている。年度中に補正予算等を通じて議会に説明したい。

**問** 第6回の市有地活用検討委員会、委員の1人がパブリックコメントをすべきと言っている。それに対して、業者の質問に答えるタイミングがあるので、そのとき市民からの質問にも答えるタイミングがあると述べているが、結局、実施されなかった。勝手に話を変えると市有地活用検討委員会の学識経験者に対する裏切りになるのでは。

**答** 確かに検討委員会の中で議論はあったが、市の方針としてパブコメは取らない。議会の承認は得ている。

**問** ホテルの建設費について、宿泊施設部分で15億円という説明だったが、県の旅館業法のホテル登録申請時には、駐車場・会議室などもホテルの一部として図面を提出するの

か。だとすると、それらの面積分の金額も含めてホテル建設費なので、60億円の建物なら、半分の30億円はホテルと見るべきでは。  
**答** 庁舎が28億円、宿泊施設が15億円、駐車場が14億円である。

**問** 市長、選挙に出るなら、総合計画に書かれていないホテルや八木北の道路について、マニフェストに書き、総合計画を作り直してもらいたい。現時点では、一般市民の理解は得られていないと思うが。  
**答** 本市へいくら落ちるのかを計算する気持ちは毛頭ない。本市は、県の中央の玄関口にならなければいけないし、それが役目だと考える。本市だけが頑張るのではなく、様々なところと連携し良いものをつくりたい。



公費ホテル イメージ図

## 万葉ホールのレストラン・喫茶

**問** ホテルの飲食店には、万葉ホールに入っている飲食業